

# 定年退職に当たって ― 専修大学の発展を祈念して ―

佐藤 創  
(ネットワーク情報学部教授)

本日は定年退職する私たちのために、盛大な会を催していただき、ありがとうございます。教職員合わせて一六名一同、厚く感謝いたします。在職年数が教員のなかで最長ということで、不束ながら私がご挨拶を述べさせていただくことになりました。

在職期間に関わらず、私たちの共通項は生まれた年が昭和一七年、あるいは昭和二七年ということです。そこで少し昔を振り返ってみましたと思います。昭和一七年と言えば、日米開戦の翌年です。そして、昭和二七年と言えば、サンフランシスコ講和条約が締結された翌年です。近年本学の編纂した資料『専修大学の歴史』を紐解くと、この一〇年間で苦難の一〇年であったことを窺い知ることが出来ます。

まず、戦時下では大学も国家に奉仕するように教育理念と教育内容の変化が求められました。ついに昭和一八年の九月、学徒出陣の勅令が発せられ、本学から二〇〇名を超える学生が戦地に赴くことになりました。戻って来た数は把握されていないと書かれています。

そして敗戦後、軍国主義を徹底的に排除するために、アメリカの指導のもとで学制改革が行われました。昭和二二年に大学令が廃止され、学校教育法が公布されました。それに伴う設置基準により、用地面積の少ない本学はたちまち存亡の危機に立たされました。ようやく現在の生田キャンパスを入手してその危機を乗り切り、昭和二四年に新制大学として発足することが出来ました。昭和二六年には学校法人としての組織が整い、そして昭和二七年に至るのです。この苦難があったことは決して忘れてはならないと思います。

伝聞による昔話はこれくらいにして、在職した歳月を今、静かに振り返ってみます。すると、「知の殿堂」と言われる大学という組織が実に崇高な存在であることに思い至ります。現在全国で七〇〇余りの大学があつて、あることが当たり前のように感じられますが、改めて考えると文字通り「有り難い」存在であると思われるのです。

そもそも人間は、実にいろいろなことに関心を持ちます。ただ生きるためだけでなく、直接生活の糧にはならないことにも知的好奇心を発揚させます。その例をいくつか述べてみましょう。

また、一昨年、図書館が主催した特別展「やまとしうるわし」では、日本語が文字と出会う歴史的資料が公開されましたが、サテライトキャンパスで行われた講演会では、熱心にメモをとる一般参加の方々の姿がありました。まさに、人間はホモ・サピエンス、すなわち、知性を持った動物です。

私はと言えば、本学で、コンピュータの本質を理解するために、出来るだけコンピュータを抽象的に扱い、「計算するとはどういうことか？」について論ずる講義を持ちました。最近、円周率 $\pi$ の計算記録の更新が新聞で報じられましたが、 $\pi$ の計算はどこまで行っても終わることはありません。

周知のように、円周率とは簡単明瞭、円の周と直径の長さの比率ですが、 $3.14159265358979323846264338327950288419716939937510582097494459230781640628620899862803482534211706798214808651328230664709384460955058223172535940812813622691415114669065936133294766153798442761631308225436466406015139862660172820728025360615608644438546086553677444839959676601623482444790153681671416942237704010367904418996462803536031428462146874609416421631706460129014379872140145879546522462247228072833926622961952176668791913321617264838313696781264084609683770469616479089660251892603430463539264240279619468871726977622999015399842597099892683820943704724047714566459310486197768665262460151808645961821638168441681491725424838559945812703705367726772667316523668741374636927347641423114404848064488831120728969200618048379639051596562586650807054652620253602282163696134218195403702728584698637572690664796637066185424487105618186418397661428981388410637854206211416271292746652691467627010656264627272325646572776529260392532901872978722660459702892726257667163139101581263321871226704268383136967812640846096837704696164790896602518926034304635392642402796194688717269776229990153998425970998926838209437047240477145664593104861977686652620253602282163696134218195403702728584698637572690664796637066185424487105618186418397661428981388410637854206211416271292746652691467627010656264627272325646572776529260392532901872978722660459702892726257667163139101581263321871226704268383136967812640846096837704696164790896602518926034304635392642402796194688717269776229990153998425970998926838209437047240477145664593104861977686652620253602282163696134218195403702728584698637572690664796637066185424487105618186418397661428981388410637854206211416271292746652691467627010656264627272325646572776529260392532901872978722660459702892726257667163139101581263321871226704268383136967812640846096837704696164790896602518926034304635392642402796194688717269776229990153998425970998926838209437047240477145664593104861977686652620253602282163696134218195403702728584698637572690664796637066185424487105618186418397661428981388410637854206211416271292746652691467627010656264627272325646572776529260392532901872978722660459702892726257667163139101581263321871226704268383136967812640846096837704696164790896602518926034304635392642402796194688717269776229990153998425970998926838209437047240477145664593104861977686652620253602282163696134218195403702728584698637572690664796637066185424487105618186418397661428981388410637854206211416271292746652691467627010656264627272325646572776529260392532901872978722660459702892726257667163139101581263321871226704268383136967812640846096837704696164790896602518926034304635392642402796194688717269776229990153998425970998926838209437047240477145664593104861977686652620253602282163696134218195403702728584698637572690664796637066185424487105618186418397661428981388410637854206211416271292746652691467627010656264627272325646572776529260392532901872978722660459702892726257667163139101581263321871226704268383136967812640846096837704696164790896602518926034304635392642402796194688717269776229990153998425970998926838209437047240477145664593104861977686652620253602282163696134218195403702728584698637572690664796637066185424487105618186418397661428981388410637854206211416271292746652691467627010656264627272325646572776529260392532901872978722660459702892726257667163139101581263321871226704268383136967812640846096837704696164790896602518926034304635392642402796194688717269776229990153998425970998926838209437047240477145664593104861977686652620253602282163696134218195403702728584698637572690664796637066185424487105618186418397661428981388410637854206211416271292746652691467627010656264627272325646572776529260392532901872978722660459702892726257667163139101581263321871226704268383136967812640846096837704696164790896602518926034304635392642402796194688717269776229990153998425970998926838209437047240477145664593104861977686652620253602282163696134218195403702728584698637572690664796637066185424487105618186418397661428981388410637854206211416271292746652691467627010656264627272325646572776529260392532901872978$

しかし、ものごとを根本的に考える点においては、例えば「人が人を裁くとはどういうことか？」などという問題意識と共通点があります。一般公開講座と異なり、大学の講義の場合、教員は共通の大きな悩みを背負っております。それは、テーマにあまり関心を持たない学生諸君にもある程度の理解を要求しなければならないという悩みです。そして成績の振るわない諸君には不幸にして履修単位を差し上げられないことも悩みのタネです。この悩みを除けば、大学で講義が出来ることは教員にとって実にありがたいことです。機会ある毎に自分の関心事への考察を反芻し、深めて行く確かな喜びを得ることが出来るからです。また、理解が叶った時の学生諸君の目の輝きを認める時、教員として無上の喜びを味わうことが出来るからです。私たちにそのような機会を与えて下さった専修大学には、改めて深く深く感謝いたします。本当にありがとうございます。

本学学則の冒頭には、「本大学は社会現象に対する自由で、とらわれない研究を基礎とし、古い権威や強力に対して、あくまで批判的であることを精神とし、人間の値打ちを尊重する平和的な良心と民主的な訓練を身につけた若い日本人を創り上げることが目的としている。」とあります。

現在、大学は自然災害、経済危機、国際関係の緊張、エネルギー問題、人口問題、高齢化問題など、多くの困難に取り巻かれています。その影響がじわじわと及ぶなかで「学の独立」を保っていることは実に素晴らしいことです。専修大学が、この理念を堅持し、ますます発展されることを願ってやみません。

平成二五年三月一三日

※この原稿は、平成二五年三月一三日に、ホテルグランドパレスで行われた「平成二四年度定年退職者慰労会」におけるネットワーク情報学部教授・佐藤創先生のご挨拶文です。専修大学に長くご奉職いただいた先生のお言葉を広く多くの方々に知っていただきたいと考え、本号の巻頭に掲載させていただきました。